

体育館ができた頃^(※1)

高普第 19 回卒 伊東 正光^(※2)

我々が希望に胸をふくらませて、相高の門をくぐったのは、昭和 39 年 4 月です。42 年 3 月の卒業までの 3 年間で、大きな出来事といえば相高生の長い間待ち望んでいた体育館が完成したことでしょう。

40 年 1 月に着工、8 月に完成、その当時は高校として県下最大のマンモス体育館と驚かれたものでした。

体育館開きは 9 月 9 日に来賓、PTA 等多数の来客を迎え盛大に行なわれました。式後体育館開きに花を添える催しとして、東京オリンピック体操競技において個人跳馬でゴールドメダリストに輝いた山下選手、女子の千葉選手、そして本校体育教諭斎藤武^(※3) 先生の後輩である日体大の体操部員 5 名が数々の妙技を披露してくださいました。我々は東京オリンピックが再現されたような妙技を食い入るように見つめ、拍手喝采をおくったものでした。

体育館が完成してからの体育の授業は変わりました。できる前はグラウンドでの 2、3 の競技、講堂での卓球ぐらい、それも雨や雪が降ると教室。運動盛りの我々にとってたいへん残念でした。でも完成後は雨や雪が降ろうが、強い風が吹こうが屋内での運動が待っていました。バスケットボール、バレーボール、マット運動、跳箱、楽しい苦しい（マット運動、跳箱が苦手でした）思い出です。

クラブ活動も変わりました。それまでの練習は他校の体育館を借りたり、グラウンドでケガをしながら練習していましたが、完成後は広い体育館で、水銀灯の下で存分に練習ができるようになり、そして体操クラブも出来、県下で優秀な成績を残したものです。

(※1) 「相中相高八十年」1978(昭和 53)年 5 月 7 日発行、「思い出の記」より。

(※2) 昭和 42 (1967) 年卒、八幡出身。

(※3) 相高教諭 (保体) : 昭和 40~49 年